

真和館だより 第18号

風の彩り

社会福祉法人致知会 救護施設真和館の公益的な取り組みについて



施設長 藤本和彦

先日(H28年10月21日)、長崎市にある社会福祉法人「みのり会(救護施設あいこう園の運営法人)」の110周年記念式典に案内を受け、出席させて頂きました。

今の福祉施設も、設立時には創始者が私財を投じますが、当時は、3度の食事まで、設立者が私費で賄わねばなりませんでした。

私は時々、施設に対する公的な支援が無くなれば、入所者のみなさんへ自分の力で3度の食事を提供できるのかと自問自答をし、先人の福祉に懸けた情熱と覚悟に、肅然とした気持ちになることがあります。

平成28年3月31日に成立した改正社会福祉法に、「日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない」という新たな条文(第24条2項)が入りました。

そこで、致知会では、真和館という施設が持っている専門的な機能を生かし、アルコール依存症者と生活困窮者の支援をすることになり、施設の正面玄関や施設のホームページに「お酒の悩みごと相談所」「福祉の困りごと相談所」の看板を掲げました。

① お酒の悩みごと相談

アルコール依存症は、否認の病気ゆえに相談に結び付けるのが、なかなか困難ではありますが、放っておけば、日々事態は深刻化するばかりであります。そこで、本人・家族・関係機関などからお酒にまつわる相談を幅広く受け、アルコール専門病院や自助グループに繋がる支援を致します。

② 節酒(HAPPY)プログラムの実施

1日に清酒換算で3合(ビール中瓶3本)以上のお酒を飲まれる方は、多量飲酒者として、アルコール依存症になる可能性が高いと言われています。節酒プログラムを用いて、飲み過ぎにならないような支援をします。希望があれば、無料で出張サービスも致しますので、気軽にご相談ください。

③ お酒に関する出前講座

保健指導機関、学校、民生委員、アルコール関連団体、企業等が開催されるお酒に関する講演会や研修会に無料で講師を派遣します。

④ 福祉の困りごと相談

福祉に関する様々な相談、施設入所や通所に関する相談も受け付けます。

⑤ 無料・低額宿泊の受け入れ

生活困窮者に対して、公的機関(福祉事務所、市町村、社協)から依頼があれば、短期間ではありますが、無料又は低額で宿泊と食事を提供します。

お酒や福祉に関する悩みごとや困りごとがあられる方は、まずは、救護施設真和館までお電話をください。(担当:副施設長藤本、指導員今池)

☎096-279-1121 Fax096-279-1122



～インフルエンザを予防するために～

①正しい手洗い

- ・爪を短く切っておく。時計、指輪は外しておく。
- ・外出先から帰宅後や調理の前後、食事前に手を洗う。
- ・ウイルスは石鹼に弱いので、正しい方法で石鹼を使う。

②ふだんの健康管理

- ・免疫力が弱っていると感染しやすくなり、感染した場合は重症化してしまうので、ふだんから十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫を高めておく。

③予防接種をうける

- ・予防接種(ワクチン)は、インフルエンザが発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化するのを防ぐ効果がある。

④適度な湿度を保つ

- ・空気が乾燥すると、のど粘膜の防御機能が低下するので、加湿器など使って適切な湿度50～60%を保つ。

⑤人混みや繁華街への外出を控える

- ・インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときは、なるべく人混みや繁華街への外出を控える。



医務室便り

調理室便り

みなさん、こんにちは！調理室からです。
今回は、豊富なビタミンを持つ、かぼちゃプリンを紹介します。
真和館の野菜嫌いさんも完食できる、野菜デザートです。

～材料～

- ・かぼちゃ 30g
- ・牛乳 25g
- ・生クリーム 25g
- ・上白糖 6g
- ・ゼラチン 2g
- ・水(ゼラチン用)10ml



- ①かぼちゃを柔らかくなるまで蒸し、皮部分を取り除き、つぶして、粗熱を取る。
- ②牛乳を加熱し、水でふやかしたゼラチンと上白糖と混ぜ合わせ、粗熱を取る。
- ③①と②を混ぜ合わせる。
- ④③を容器に入れて、冷やし固めれば、完成！

お誕生者の案内

1月	3日 齋藤さん	3月	1日 桑田さん
	6日 小石川さん		5日 澤田さん
	10日 山浦さん		11日 志垣さん
	11日 富田さん		12日 村上さん
2月	12日 石坂さん	4月	18日 井上さん
	14日 佐藤ふさん		31日 岩尾さん
	16日 緒方まさん		3日 坂崎さん
	20日 三吉さん		3日 泉さん
	31日 杉本さん		8日 黒田さん
	31日 端中さん		14日 森元さん
	2日 緒方まさん		17日 岩永さん
3月	4日 和泉さん	5月	1日 大久保さん
	4日 柳田さん		20日 興梠さん
	16日 西川さん		20日 坂井さん
	25日 園田さん		1日 松村さん
	26日 松尾さん		6日 高野さん
			26日 桑崎さん



発行:社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館
 〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
 TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
 E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
 HP:http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html

編集後記

昨年の熊本地震におきましては、皆様から温かいご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

真和館は、開設10年の節目に熊本地震で大きな被害を受けました。地震が発生し、9ヶ月近くなるとうとしている今でも、まだまだ復旧作業をしているところですが、今年は地震で暗いニュースが多かったですが、そんな中でも、真和館にとっては明るいニュースもありました。10月に岩手県で開催されました全国障害者スポーツ大会に卓球バレーチームが出場し、全チームの中で1チームしか受賞することができない、敢闘賞を頂くことが出来ました。これは、日頃から心掛けているフェアプレイの精神が評価されたことと、毎日熱心に練習に励んだ入所者の方々の頑張りの成果だと思えます。

まだまだ寒さ厳しい日が続きますので、皆さま体調等崩されませんよう、お体ご自愛ください。本年も真和館をよろしくお願い申し上げます。

<編集責任>
田上

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。

熊本地震

熊本地震での真和館へのご支援有難うございました
心から御礼を申し上げます



熊本地震に際しましては、多くのみなさまにご心配をお掛けし、また、お見舞いや励ましの言葉あるいは多大な義援金・支援物資・労力提供をいただきました。心から厚く、厚く御礼を申し上げます。本当に、有難うございました。

屋根の修理が終わりしましたので、一番心配であった大風・大雨にも安心できるようになりました。次は、お湯やスプリンクラーの水漏れ工事が当面の課題となっています。

1 卓球バレー大会へ(萩ライオンズクラブ様から)招待を受けました

地震直後、練習も儘ならない真和館卓球バレーチームを励ますために、全ての経費を萩ライオンズクラブ様持ちで、招待したいという話が持ち上がりました。山口県卓球バレー協会様と熊本県卓球バレー協会様とが窓口になり調整頂いた結果、9月10日に開催された「第2回萩ライオンズクラブ杯卓球バレー大会」に真和館チーム総勢10名を1泊2日の日程で招待頂きました。2日目には、ひまわりチームと「いわて国体」に向けた強化練習も出来ました。



2 地震後の入所者の心身の状況について発表

アルコール問題が災害後に、増加・悪化するために、11月26日に熊本県庁地下大会議室で開催された第32回熊本アルコール関連問題学会は、震災とアルコール依存症の関係の情報共有がテーマとなりました。真和館からも藤本基子副施設長が、2泊3日の避難生活や9泊10日の施設の集会所での集団生活の状況と地震後の入所者のみなさんの心身の状況について発表をさせて頂きました。

3 入所者Tさんが熊本地震について発表

12月17日・18日に熊本保健科学大学で開催された九州ネットワーク・フォーラム「そのとき私たちは、熊本地震に遭って感じたこと。」というsessionで、入所者のTさんが障害当事者の立場から発表をされました。当日は落ち着いた発表が出来、被災時の様子が確り、会場のみなさんへ伝わりました。

断酒の取り組み

『第15回 球磨人吉地域合同断酒会』



平成28年12月11日(日)に開催された、第15回球磨人吉地域合同断酒会に6名で参加しました。本人の立場と家族の立場からということで、教組の体験発表があり、来賓の先生方々のコメントもありました。会場では、真和館の居宅生活訓練事業を利用し、真和館退所後は人吉の借家で生活しておられるT-Kさんに会うことができました。訓練中から定期的に人吉の断酒会にお連れし、仲間づくりをして頂きました。昨年は、この合同断酒会の席で体験発表をされ、今も元気に断酒会に通っておられます。お互いに再会を喜び合いました。

参加された、黒田さん、Tさん、ゲンさん、引率職員に感想を聞いてみました。

黒田さん: 家族の体験を聞いて涙を流しました。自分も同じようなことを家族にしてみました。正直言ってこたえました。人吉城址で食べた栗弁当はおいしかったです。

Tさん: 印象的だったのは、松永先生の話の中に「素直」には、自分の事を素直に言う、相手の言っていることを素直に聞く、の二つがありますと話されたことです。私はACの家庭に育ちました。自分も前々から思っていたことですが、ACの回復のキーワードは、子どもの部分を成長させなければならないと、どの先生かが言われていました。内なる部分を直して、成長して行こうと思います。

ゲンさん: 家族の体験話を聞いて、自分も随分家族に迷惑をかけたと思います。人吉の栗弁当はおいしかったです。

引率職員: 私は球磨の出身です。体験発表された人の中に、当時同じ小学校に通っていた方がおられました。発表を聞き、苦労されたことを思うと心が痛みました。

真和館では、いつの間にか球磨人吉地域合同断酒会参加が恒例になりました。来年も参加させて頂きたいと思っております。



第6回ムツゴロウ杯卓球バレー交流大会 平成28年9月25日(日) 佐賀県勤労身体障害者教養文化体育館



今年は、山口県から2チーム、大分県から2チーム、熊本県から2チーム、佐賀県から9チームの計15チームが集まり、大会が開催されました。真和館もAチームが参加させて頂き、結果は、前回の大会で開かれた大会に続き、強豪ひまわりBチームに敗れ3位でした。またまたあと一歩及ばず、フルセットの末の敗戦となりました。



FIGHT!



第9回火の国杯争奪九州卓球バレー大会 平成28年11月6日(日) 熊本県身体障害者福祉センター



平成28年11月6日(日)、熊本県身体障害者福祉センターにて、第9回火の国杯争奪九州卓球バレー大会が開催されました。今年は、12チームが集まったの大会となり、結果は惜しくも2位でした。決勝は、各ブロックを1位通過した、ひまわりAチーム、ひまわりBチーム、真和館Aチームの3チームによる総当り戦となり、初戦は、前回、前々回の大会で敗れたひまわりBチームとでした。今回は、運よく2セット連取して勝利することが出来ました。次のひまわりAチームにフルセットの接戦の末敗れ、優勝にあと一歩届かず惜しくも2位でした。ただ、今回は2大会連続で敗れたひまわりBチームに勝利することができたので、入所者のみなさんにとって今後の励みとなった大会になりました。



夏の旅行



毎年恒例の夏のキャンプ!今回は、平成28年9月1日~2日に掛けて芦北の御立岬キャンプ場へ1泊で行って来ました。今回は、千草寮さんとの卓球バレー交流会も兼ねてのキャンプでもあり、男性4名、女性3名の卓球バレーメンバーの方が参加されました。また、もえぎさんのお茶会でお世話になっている中根さんも参加され、いつもとは違った雰囲気のキャンプとなりました。1日目の夕食は、バーベキューで、お肉をたくさん食べ、「もう~お腹いっぱい!」とみなさん大変満足されていました。

2日目は、日奈川の温泉街を散策し、懐かしい小物を見たり、名産の焼き竹輪を味見したりとゆっくりとした時間を過ごしました。その後、千草寮さんを訪問し、卓球バレーの交流試合を行いました。交流試合とはいえども両チームとも表情は真剣!私たち職員もついつい応援に熱が入ってしまいました。試合が終わると、皆さん笑顔になられ、帰る時は手を振って見送って下さいました。とても充実した思い出のキャンプとなりました!!



卓球バレー



2016希望郷いわて大会 第16回全国障害者スポーツ大会

平成28年10月22日(土)~24日(月)、岩手県で開催された「2016希望郷いわて大会第16回全国障害者スポーツ大会~卓球バレー大会~」に出場しました。

大会出場40チームのうち、西ブロック(九州・山口)から5チームが選ばれましたが、真和館チームもその中の1チームに選ばれました。大会直前まで気合いの入った練習を積み重ねて臨みましたが、くじ運が悪く、長年優勝を続けているひまわりチームと準々決勝で対戦することになりました。試合は1勝2敗と伯仲した試合とはなりませんが、結果は、昨年同様ベスト8で終わりました。フェアプレイ精神や優勝チームに互角近く渡りあえたことが、各ブロック会長から認められ、満場一致で、「敢闘賞」をいただくことができました。これもひとえに、熊本卓球バレー協会の日頃の熱いご指導やご支援の賜物だと心から感謝しています。

全国障害者スポーツ大会いわて国体という大きな大会への参加でしたので、選手のみなさんにとっては、プレッシャーも大きかったと思われませんが、全員無事に元気に帰ることができました。



一致団結



真和館チーム

ちなみに...
前日は、岩手山麓の八幡平の紅葉狩りに行きました。広葉樹の森の中に滝も見え、とても幻想的な風景でした。また、九州には生育していない「白樺」の木を見て感動し、思わずみんなで「ばー！」と、熊本弁丸出しで楽しんで来ました。



ベスト8 (敢闘賞)

第18回大分オープン卓球バレー大会 平成28年7月24日(日) 太陽の宮サテライトスポーツセンター

この大会は西ブロック最大の大会で、今年は32チーム、260名の参加がありました。

真和館チームは、4月にチームの再編成を行い、「これから頑張るぞ！」と意気込んでいたところに地震の被害に遭ってしまい、しばらく練習できない日々が続きました。多少不安を抱えながら試合に挑みましたが、運よく準々決勝まで勝ち進むことができ、強豪ひまわりBチームに接戦の末敗れ、結果はベスト8で、敢闘賞を頂くことが出来ました。日本一のチームであるひまわりチームに敗れましたが、入所者のみなさんからは、「練習してきたことが十分に出せた。」「練習でやってきたことは間違っていないから。」「と、とても前向きな言葉が聞かれ、自信を持って大会となりました。

ベスト8 (敢闘賞)

第18回大分オープン卓球バレー大会



AAラウンドアップIN沖縄

6月24日~6月26日

アルコール依存症の自助グループAA(アルコール・クス・アノニマス)が毎年夏に開催する2泊3日の研修会「AA九州 沖縄地域主催ラウンドアップin沖縄」に、入所者4名と職員2名が参加しました。熊本空港を飛び立ち、12時50分に那覇空港に到着。さすが南国沖縄です。日差しが暑いことといたら！移動のために那覇空港からレンタカー屋さんへ。沖縄そばの美味しいお店へレッツゴー！とても美味しい郷土料理にみなさん大満足でした。その後、首里城見学へ向かうのですが、みなさん歩き疲れて首里城には辿りつけず、残念無念！研修宿泊先のホテルむら咲むらへ向かう。その日の夜は、ミーティングに参加。

2日目はパブリック・ミーティングが開かれ、国立病院機構琉球病院医師 福田貴博先生の講演がありました。福田先生は依存症の専門家、最近ではDV(ドメスティック・バイオレンス)の問題にも取り組まれておられます。「依存症とDVは多くの類似点があり、例えばエスカレートする(耐性)、否認する、理由づけがうまい、周囲からは分かりにくい、誤解されやすい、悩むのは家族が先である、再発する、常に暴力を振るっているわけではない、アルコールを飲んでない時は優しい人、依存症から回復してもDVはなくなる。」と話され、DVが依存症と同じと考え、DVもコントロール喪失の病気といえる話されました。

次に、沖縄刑務所の教育専門官 宮國清先生の講演に移りました。宮國先生からは、「沖縄の刑務所は初犯と累犯が一緒に収容されており、他県とは違う形態の刑務所で、4割~5割の方がアルコール問題絡みの犯罪で服役されている。これまでは、服役者に作業をさせなさいという法律でしたが、平成18年に教育をせなさいという法律に変わって来た。平成24年7月の犯罪対策閣僚会議で、今後10年間に再犯防止に向けた総合対策が策定されました。要するに刑務所内でもアルコール問題に対する取り組みが進みつつある。」という話がありました。

2日の夜はラッフルパーティでゲームを楽しみ、アメリカ人のAAメンバーも参加されており、その方々のスピーチを興味深く聞きました。26日(日)の最終日、さよならミーティングに参加し、沖縄空港へ。無事に真和館へ帰館しました。

AAのみなさん、沖縄での3日間、沢山の思い出をありがとうございました。



『アメシストの集い』

男性立ち入り禁止、女性みの断酒会です。年に3回~4回益城病院で開催されます。女性アルコール依存症の方が、県内各地から集まれ、真和館の女性陣も参加させていただいています。

男性が一緒の場では話づらいことや、女性だからこそ共感できる悩みを、一人ひとり、思っていることを語られます。女性は、心身の調子が悪くても辛くても、「家事をせねば、家族の世話をせねば」等、真面目な方が多く、断酒されて鬱になられる方の割合が半数に上るということです。「今日は『アメシストに行かなきゃ』と思って、頑張って起きて化粧をしました」とおっしゃる方もおられ、心の支えになっていることが伺えます。



『集中内観療法に参加して』

初めての経験なので緊張と不安と期待の中、1日目はなかなか上手く自分自身のことを思い出すことが出来ませんでした。最初の2日間は正座で足の痛みがつかう一日が長く感じましたが、3日目の昼には頭がスッキリしてきました。焦らず、ゆっくり、深く調べようと思った4日目は、朝から頭痛がしてイライラしました。5日目も、一日中頭と肩が痛く、ストレスなのか頭がボーっとしてイライラしていました。6日目は、朝から気分が良く、上手く内観が出来ました。7日目は、1週間ぶりに森田職員の顔を見て安堵感があり、やっと終わったと肩の荷が下りた思いがしました。このような貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。勉強になりました。感謝しています。(記:入所者 黒田さん)

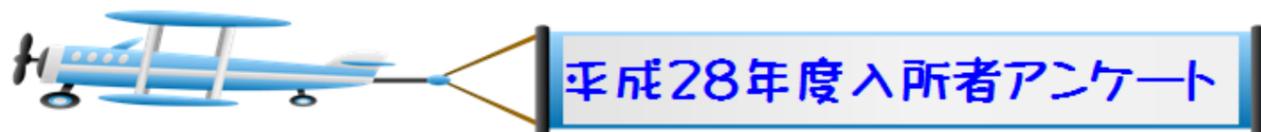


真和館の内観室

平成28年8月16日(火)~23日(火)までの7泊8日、長崎県長崎市にある三和中央病院の集中内観療法研修に参加して来ました。6畳ほどの部屋の隅にある屏風の中でひたすら、その時代3年区切りで年齢に沿って、「していただいたこと」「してかえたこと」「迷惑をかけたこと」を「誰に対して」について調べて行きました。

最初の2~3日は、狭い空間の中での内観が身体的・精神的に苦痛でしたが、毎日内観をして行くうちに、いつの間にか苦痛から感謝へと自分の心が変わって行きました。一緒に研修に参加された入所者の黒田さんは、一貫してお酒と母親について年代毎に区切り、調べられたそうです。また、黒田さんは、研修から帰られてからも、施設で引き続き日常内観を継続されておられます。本人も何か感ずるものがあったようです。内観を通し、日々何事にも「感謝の気持ち」を持ち、「人に対し恩を忘れてはならない」ことを諭して頂きました。(記:生活支援員 森田 良治)

※9月27日に真和館で開催した「心みがきの講演会」は、玉名市にある蓮華院誕生寺内観研修所長 大山真弘先生を講師にお招き、「幸せになる方法」と題して、内観のお話をして頂きました。



10月に入所者のみなさまに、アンケート(自由記入、書けない方は聞き取り代筆)をお願いしました。アンケートの内容は、例年と同じく、「①今の真和館の生活をどう思いますか」「②毎日の生活の中で何か希望があれば聞かせてください」の2項目です。

I 今の真和館の生活を、どう思いますか。

- ・気に入っています。規正く正しいところが。アルコールを飲まなくなって規正く正しい生活ができるようになりました。
- ・過ごさせてもらってすごくありがたく感じています。
- ・たいへんたのしーです。作業がたのしいです。
- ・とてもよございます。どこにもいきとうありません。
- ・ようわからんけど好き。
- ・ゆっくり過ごせている。
- ・充実していいと思います。(同意見6件)
- ・まあまあ丁度良い。(同意見2件)
- ・断酒の誓い、断酒の集いの数が多い。週に一回でいい。
- ・別に何も思いませんが毎日の生活がおもしろくありません。
- ・楽しくないので出て行きたいと思う。
- ・何でここに居るのが分からないので何も思いません。
- ・前は一緒に登山とかなんやかんやしていたけど、近頃はいっちゃんせん。
- ・退屈している。
- ・長く居ないのでわかりません。
- ・別に何もありません。(同意見10件)



※施設に関するものが34件ありました。山登りは楽しかったですか、思い出を大事にしてください。真和館では、様々な行事を実施しています。参加すれば、楽しい時間になります。

- ・かんしゃしてます。職員さんに。
- ・担当はす〜っと〇〇さんでいてほしい。一人で住んでいる時はよい。
- ・〇〇様よくしてくれますのでなにもない。
- ・職員は良いし自由時間はあるし良いと思います。
- ・医務の人が特定の人だけを大事にする。

※職員に関するものは5件ありました。

- ・別に何も思いませんが、ここは意気が悪くて、人の悪口ばかり言う！
- ・せいかくがわるくなりました。いじめが多いと思います。
- ・お金を借りに来る人と男性の人が部屋に入って来る人がいるのでとてもイヤ。それさえなかったら私も毎日とっても楽しい場所だと思っています。

※対人に関するものは3件ありました。困ったことがあったら、すぐに職員に相談してください。

- ・人それぞれの気持で特別より以上の希望をしないし、自分は合格点だと思う。
- ・1年経つのが早かったです。
- ・いそがしい。ふつうの生活、不自由ない。
- ・早く出たいです。
- ・体が健康になれば真和館を出て社会に出ていけば良いと思う。
- ・今の生活はちょっと不安です。悩みがあります。今日は頭がいたくて不安がありました。今日は朝から頭がいたかったです。昼からさびやくして頭のいたいときの薬をのんでおりました。
- ・もっとたばこを吸わして下さい。
- ・たばこを10本して下さい。
- ・平成28年7月7日から真和館にお世話になり、いろんな意味で勉強になっています。様々なアルコールに断酒会、記念例会、学習会、ミーティングなど出席させていただき感謝しています。又、卓球バレー、内観、自分にとっては、初めての経験ですが一生懸命に頑張りたいと思います。まだまだ不慣れな自分ですが、教えてもらいたい事が沢山あると思います。職員の方や又、スタッフのみなさんにも気軽に声をかけてもらえれば有り難いです。よろしくお願いします。

※その他様々な思いや意見が9件ありました。タバコは体に悪く、お小遣いも減ります。節煙をしましょう。

II 毎日の生活の中で、何か希望があればお聞かせください。

- ・洋画がみたい、ラブストーリー。
- ・初めて冬を過ごさないといけない中で、入所者のみなさんの話しでわかり寒いと聞いています。自分はテレビを持っていないので、毎年1Fの集会所のテレビの前にコタツが置かれるそうですが、2Fの談話コーナーにわコタツを置いてもらえないでしょうか？(同意見1件)
- ・登山がしたい。
- ・何か楽しいこと(ゲームとかソフトボール)がしたい。トランプのメンバーがいればな〜。できるなら1時間半か2時間位やりたい。
- ・何も無いな〜。満足しとりたい。たまに私がきちがいになるばかりたい。
- ・別にありません。(同意見20件)
- ・もう少し食事の種類を増やして欲しい。
- ・肉とバナナが食べたいです。
- ・献立を少しは変えてほしい。お味噌汁の具をトーフやワカメを使ってほしい。最近鶏肉が多すぎる。
- ・毎日のように部屋をのぞく。医務の人が。
- ・2人部屋でもいいのですが自分のわがままで、たまに1人になりたい時があります。
- ・タバコをふやしてほしい。
- ・進歩するように努力したいです。
- ・足が治るようにしたいです。
- ・水平線が見れたら。
- ・デイケアに行きたいです。
- ・別にここでの生活で希望は有りませんが社会に早く出たいです。
- ・ちょっとわからないです。だれかに相談したい事があります。
- ・たまには食べにいきたい。何でもいいです。
- ・女性にはきびしいと思います。
- ・施設という観点から個人的な希望になるので控えます。
- ・図書かんを読もうと思う。
- ・帰って農業をしたい。
- ・外に出て生活できるかどうか分からないけど外に出てみたい。
- ・自分の体も大部調子が良くなってきたのでもうそろそろ真和館を出て行きたいと思っています。



※様々な希望が46件ありました。真和館は、みなさんの家です。優しくもありますが、厳しくもあります。

<給食嗜好調査アンケート>

風の彩り第16号(H28.1発行)では、季節ごとに食べたい人気メニューの嗜好調査をご報告しました。今回は、食材ごとに食べたい人気メニューの嗜好調査の結果についてご報告します。

- 肉 類:1位からあげ 2位ハンバーグ 3位サイコロステーキ 4位とんかつ 5位牛井
 魚介類:1位刺身 2位うなぎの蒲焼 3位えび天 4位エビフライ 5位魚の塩焼き
 麵 類:1位ラーメン 2位焼きそば 3位ちゃんぽん 4位うどん 5位冷やし中華
 その他:1位お好み焼き 2位カレーライス 3位巻き寿司 4位ピザトースト 5位おでん
 デザート:1位ぜんざい 2位もちもち牛乳 3位まんじゅう 4位牛乳プリン 5位杏仁豆腐

結果、人気メニューと認識していたものが、上位を占めていました。真和館の給食にて、月1回は、メニューに取り入れている人気メニュー(ハンバーグ、ラーメン、焼きそば、ちゃんぽん、巻き寿司、刺身(冬のみ)、カレー(1が付く日)、もちもち牛乳)に関しては、1~3位に入っており、入所者の嗜好に合った給食提供を行っている、再確認することができました。

今回の結果を踏まえ、それぞれの人気メニューの提供頻度の見直しを行い、より良い給食を目指していきます。